

# ふれあい体験記

これまでの取材を通して

今年4月に入庁して以来、広報紙の取材で町内のいろいろな所を訪問してきました。

広報あびら6月号からは、新人職員である私が安平町はどんな町なのかを知る「ふれあい体験記」が新企画としてスタート。6月10日からは安平町公式フェイスブックページでの情報発信も始まり、取材に出る頻度が増え、老若男女多くの町民の方とふれあうことができました。

ふれあい体験記としては、「おいしい講習会」や「チーズ作り」を体験。そのほか、入学式や運動会、アサヒメロンの初出荷、お祭り、芸能発表会などなど。上げたらきりが無い程、色々な行事を見てきました。



入庁して日がそう経っていないときの取材では、「見ない顔だな」と言われ取材先の学校などでは子ども達から「なにしているの?」とよく聞かれました。しかし、最近では「また取材か。お疲れさま。」だったり、子ども達からも「役場の人だ!」と声をかけられ少しずつ顔を覚えてもらったことに、嬉しさを感じます。

肝心の取材はというと、「入学式」が1番強く印象に残っています。

初取材が入学式ということもありますが、初めて当事者という形ではなく、式に立ち会ったことが大きいかもしれません。初心に帰るというわけではありませんが、新1年生を見て自分自身「1から頑張っていこう」と思えたのは、良い機会でした。

これからも、人との出会いを大切に、色々なことを感じ、吸収しながら取材をして行こうと思います。

取材先で見かけたときには、温かくも厳しいお言葉をいただけたらと思っています。



小林誠が行く

## ふれあい体験記

～ 追分ファームリリーバレー編～



「追分ファームリリーバレー」にお邪魔してきました。事務所の窓からは、広大な敷地に、競走馬が使用する大きなトレーニンク施設。この施設には屋根が付いており、全天候においてトレーニンクができるのだとか。

今回は、特別に許可をいただき、施設の一つ全長1000mを超える坂路コースに入ることができました。調教タイムを測る600mの区間の平均勾配は3.58%で、競走馬はここを38秒程度で駆け上がってくると聞き、普段



※この写真は、特別に許可をいただき撮影したものです。

競走馬がしていることを真似て走ってみました。想像以上に前に進むことができず、50mも走っていないと思います。非常に疲れました。

取材から役場へ戻る車中では、筋肉疲労が出始めていました。競走馬のトレーニンクが凄いものと体感できたのは、凄く貴重な体験です。

この様なすばらしい体験をさせていただき、ありがとうございました。